

様式第 8 号添付資料

表－ 1

(単位：h a)

	高度公益 機能森林	被害拡大 防止森林	地区実施計画対象松林			対策対象 松林合計
			地区保 全森林	地区被害拡 大防止森林	計	
知事等が区域指 定等した面積						
うち自主事業 計画対象面積						

注) 1 面積は、ヘクタール単位とし、ヘクタール未満は四捨五入する。

2 松くい虫被害対策事業実施要領第 8 の 1 により特認を受けた国有林（以下「特認国有林」という。）がある場合には、合計欄に（ ）で外書きする。

(参考) 特認国有林の区域

当該松林の区域	面積 (h a)	備考

注) 1 特認国有林がある場合のみ記載する。

2 「当該松林の区域」欄は、林班、地番等を記載する。

3 「備考」欄は、当該国有林の所有者である国の機関名（省庁名及び地方支部部局名）及び現在の管理者を記載する。

表-2 自主防除事業の実施計画

(1) 自主事業計画対象松林における松林ごとの適切な防除法

(単位：ha)

松林区分	面積	特別伐倒駆除			伐倒駆除			緊急防除	駆除措置計 (A)	特別防除	地上散布	樹幹注入	予防措置計 (B)	合計 (A+B)	伐採木等駆除
		破 砕	焼却(破砕)	計	薬剤散布	くん蒸	計								
高度公益機能森林 ：うち自主事業計画対象松林															
被害拡大防止森林 ：うち自主事業計画対象松林															
地区保全森林 ：うち自主事業計画対象松林															
地区被害拡大防止森林 ：うち自主事業計画対象松林															
対策対象松林 計 ：うち自主事業計画対象松林															
特認国有林															

注) 1 事業推進計画の表2から当該市町村に係る部分を移記するとともに、同様の記載要領により自主事業計画対象松林における防除方法別面積を記載する。なお、特認国有林については、地区防除指針等に照らして適切な防除方法を定め、記載する。

2 面積は、ヘクタール単位とし、ヘクタール未満は四捨五入する。

(2) 年度毎の自主防除事業の見通し量 (平成〇〇～13年度)

区分 / 年度		〇	〇	〇	〇	13	計
駆除措置	特別伐倒駆除 (m <sup>3</sup> )						
	伐倒駆除 (m <sup>3</sup> )						
	<補完伐倒駆除 (m <sup>3</sup> )>						
	緊急防除 (m <sup>3</sup> )						
	計						
予防措置	特別防除 (ha)						
	地上散布 (ha)						
	樹幹注入 (ha)						
	計						
伐採木等駆除 (m <sup>3</sup> )							

注) 1 (1)の表を基に、年度毎の自主防除事業の見通し量を記載する。

2 面積は、ヘクタール単位とし、ヘクタール未満は四捨五入する。材積は立法メートル単位とし、立法メートル未満は四捨五入する。

表3 松林健全化整備事業の実施計画

(1) 事業推進計画における目標量（五ヶ年送料）

	松林区分	面積	衛生伐	臨床改善整備	育成単層林整備				育成複層林整備			作業路		
					人工造林	保育(植栽型)	整理伐	単層林改良	保育(天更型)	整理伐	複層林改良	保育(天更型)	短期	長期
事業推進計画の目標量	高度公益機能森林													
	地区保全森林													
	保全すべき松林計													
年平均	高度公益機能森林													
	地区保全森林													
	保全すべき松林計													

- 注) 1 事業推進計画の表3から当該市町村に係る部分を移記するとともに、年平均の目標量を記載する。  
 2 面積はヘクタール単位とし、ヘクタール未満は四捨五入する。

(2) 年度毎の松林健全化整備事業の見通し量（平成〇〇～13年度）

区分 / 年度		〇	〇	〇	〇	13	計
衛生伐 (ha)							
林床改善整備 (ha)							
育成単層林整備	人工造林 (ha)						
	保育(植栽型) (ha)						
	整理伐 (ha)						
	単層林改良 (ha)						
	保育(天更型) (ha)						
育成単層林整備	整理伐 (ha)						
	複層林改良 (ha)						
	保育(天更型) (ha)						
作業路	短期 (m)						
	長期 (m)						

- 注) 1 (1)の表を基に、年度毎の松林健全化整備事業の見通し量を記載する。  
 2 面積はヘクタール単位とし、ヘクタール未満は四捨五入する。作業路はメートル単位とし、メートル未満は四捨五入する。

表4 松林健全化整備事業の実施計画

(1) 事業推進計画における目標量（五ヶ年総量）

	松林区分	面積	衛生伐	臨床改善整備	育成単層林整備					育成複層林整備			作業路		
					人工造林	保育(植栽型)	整理伐	単層林改良	保育(天更型)	整理伐	複層林改良	保育(天更型)	短期	長期	
事業推進計画の目標量	被害拡大防止森林														
	地区被害拡大防止森林														
	高度公益機能森林														
	周辺松林計														
年平均	被害拡大防止森林														
	地区被害拡大防止森林														
	高度公益機能森林														
	周辺松林計														

注) 1 事業推進計画の表3から当該市町村に係る部分を移記するとともに、年平均の目標量を記載する。

2 面積はヘクタール単位とし、ヘクタール未満は四捨五入する。

区分 / 年度		○	○	○	○	13	計
生立木除去 (m <sup>3</sup> )							
林床改善整備 (ha)							
育成単層林整備	人工造林 (ha)						
	保育(植栽型) (ha)						
	整理伐 (ha)						
	単層林改良 (ha)						
	保育(天更型) (ha)						
育成単層林整備	整理伐 (ha)						
	複層林改良 (ha)						
	保育(天更型) (ha)						
作業路	短期 (m)						
	長期 (m)						

注) 1 (1)の表を基に、年度毎の松林健全化整備事業の見通し量を記載する。

2 面積はヘクタール単位とし、ヘクタール未満は四捨五入する。材積は立木メートル単位とし、立木メートル未満は四捨五入する。作業路はメートル単位とし、メートル未満は四捨五入する。

表5 松くい虫被害木利用促進事業の実施計画

区分／年度	○	○	○	○	○	計
被害木搬出利用の見通し量 (m <sup>3</sup> )						
うち林業改善資金 (被害森林整備資金) 活用事業に係るもの (m <sup>3</sup> )						

注) 松くい虫被害木を搬出利用すると見込まれる事業量について記載する。